

児童・生徒の作品コーナー



東陽小学校児童の紹介



83

我が家の家庭教育

県住 中村 和子

我が家には、中1と小6の2人の娘がいます。

娘たちが幼稚園に通っている時までは、我が家も平和でした。

甘えん坊で人見知りをする娘たちは、毎朝、幼稚園に行

くのがいやだと泣いて、義母や私をこまらせていました。

下の娘が小1の時、家庭の事情で私と娘2人は、住み慣れた家から県営住宅での生活になりました。

気の弱い長女、神経質で元気な二

女の娘たちが

物静かでしとやかな女性に

うになりまし

環境の変化で少し心配だったので、

毎日に、毎日学校に元気に通う姿に安心していた時、二女の頭2ヶ所に禿ができていたのです。

私よりも娘の方がショックが大きく、小さな胸を痛めて

庭教育のような気がします。また、これからの波のよう

いたのかと愕然として涙が流れました。

今では私の夜勤の時などは、長女は妹の世話をし、二女は夜の戸締り、火の用心に気配りをしながら、2人仲よく協力して留守を守ってくれるよ

娘たちは親の身勝手さで与えられた試験に対し、私や周囲の人たちに気を使い、精一杯明るく元気を姿を見せる、心優しい娘に成長しています。

これが、生きた我が家の家庭教育のような気がします。

1年

いとうまゆみさん

※ひるやすみにあやかかとびをやりました。40かいとべて、すぐくうれしかったです。



『なわとびをしている私』



『かさじぞう』

2年

鈴木雄一郎くん

※お話を読んで、じいさまがきつとこんなふうにかさをかぶせたんじゃないかと思っ



に大なり小なり、この娘たちの上に試験が押し寄せてくる

しい娘になってくれればと願っています。



姉妹協力して留守をしっかり守ります

親として一つ欲ばりな希望として、「物静かで、しとやかな女性に育ってほしい。」と娘に話したところ「親に似ているのだから……。やはり、親がお手本を示さなければね。」と苦笑いされてしまい、私も反省しています。

と思いますが、一つ一つを乗り越え、思いやりのあるやさ